

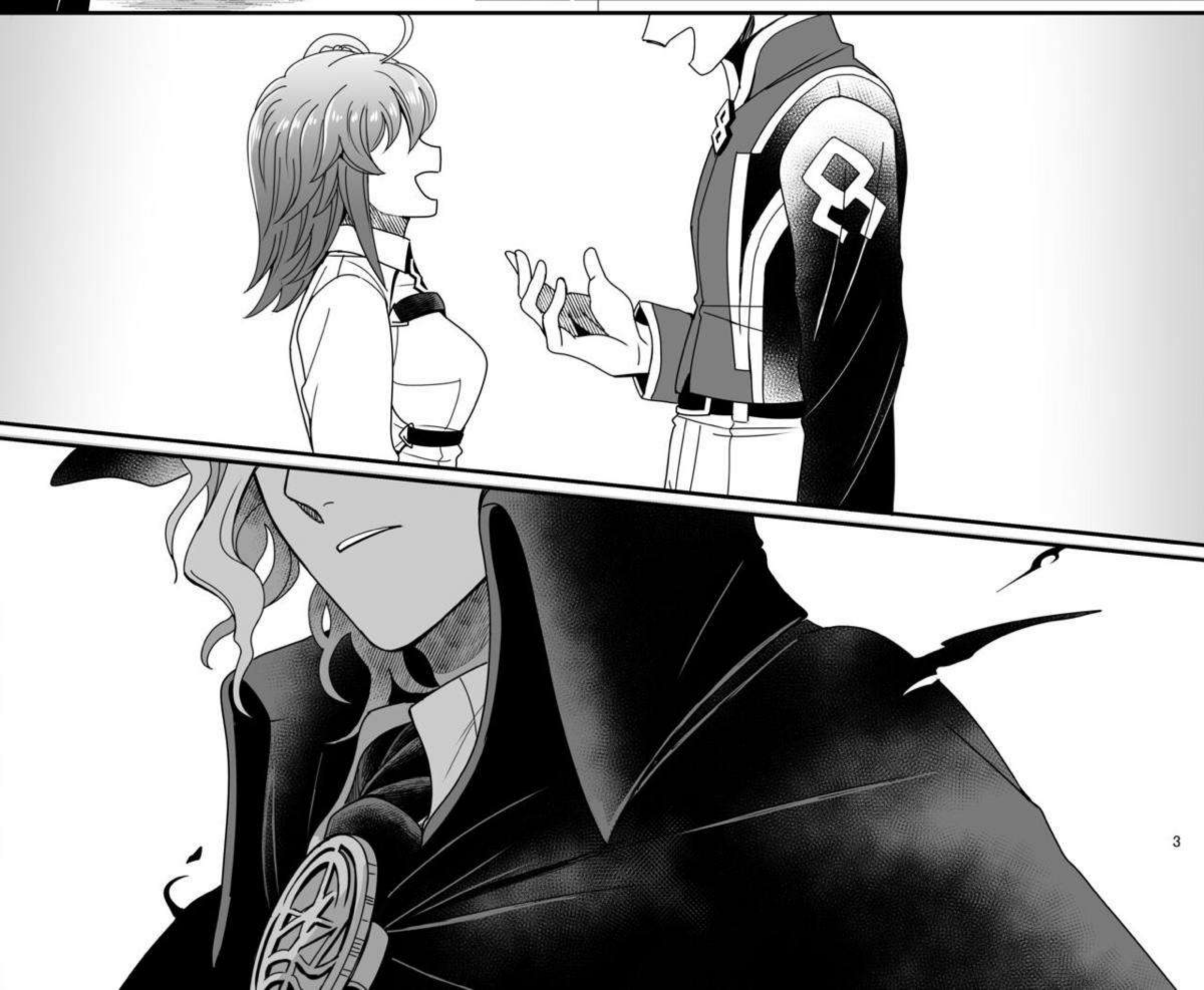


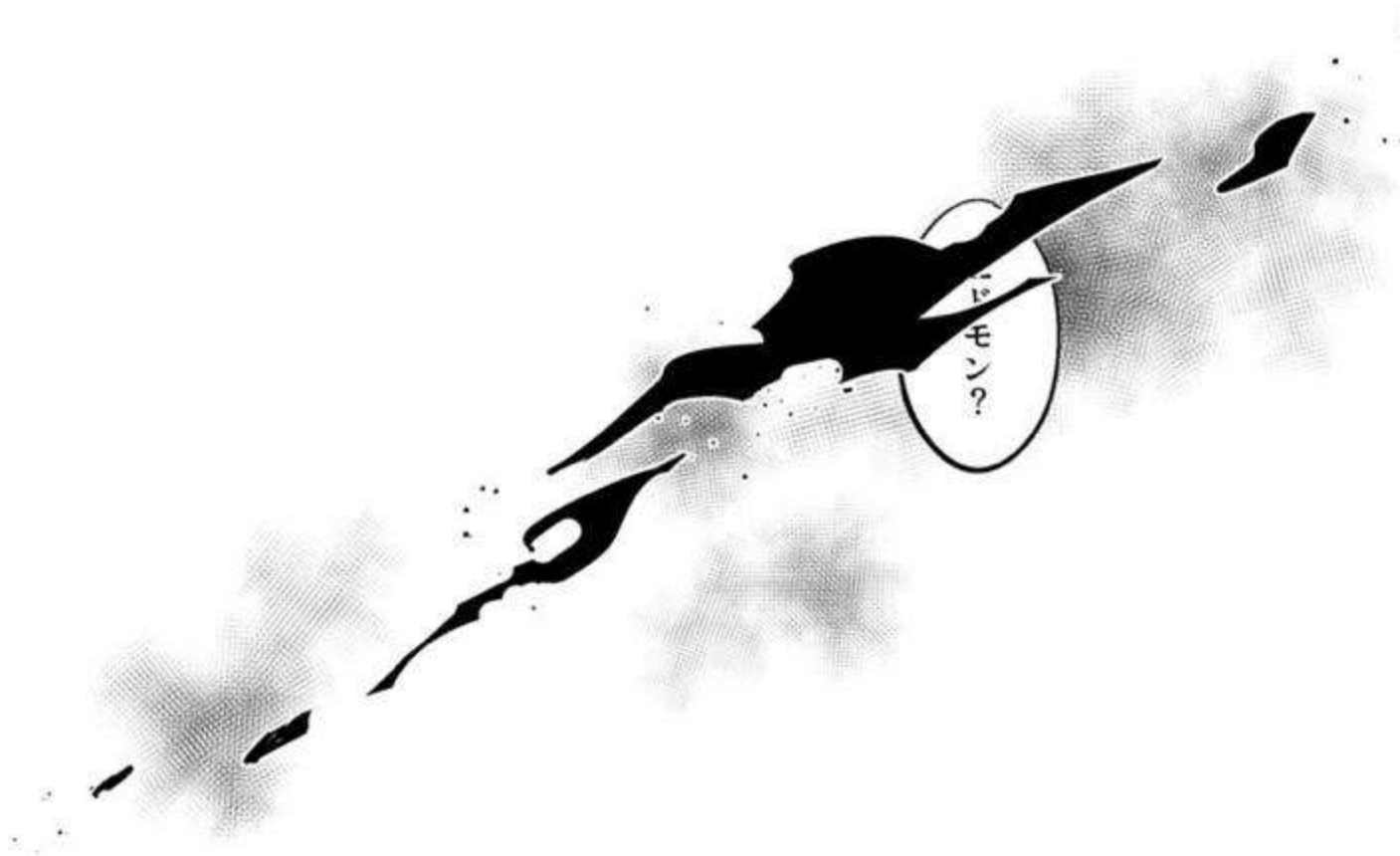
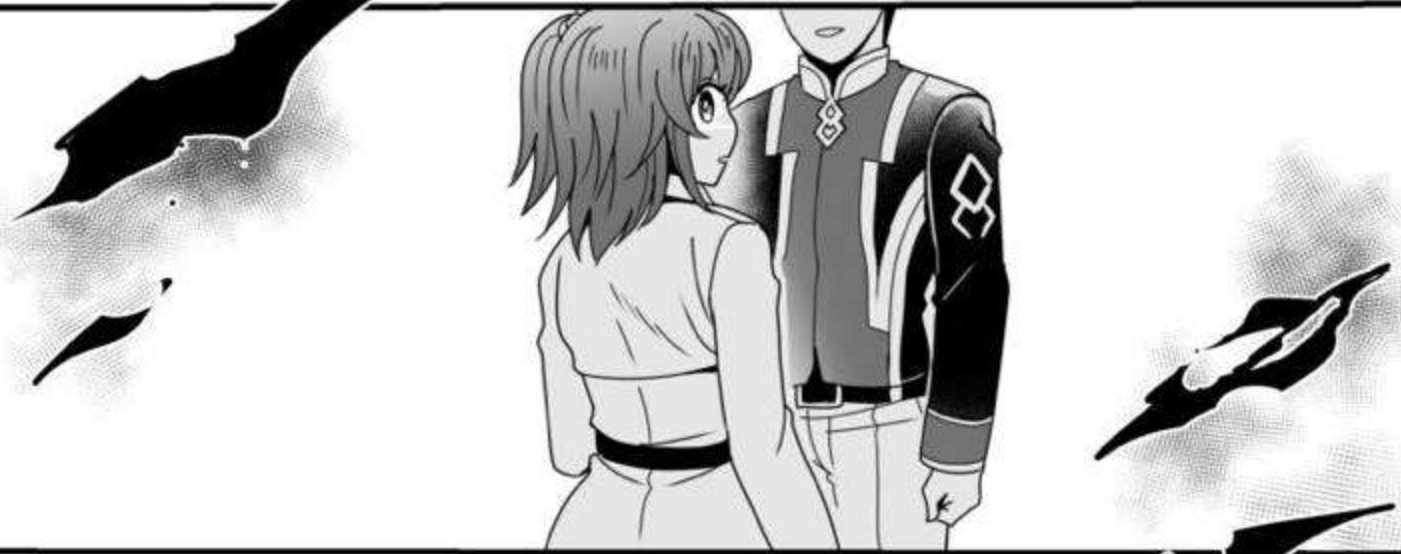
「 手を握る 」
「 手を握る 」
「 手を握る 」

hold your hand

R18
adults only

Fate/Grand Order
Un Official Fanbook
EDMOND DANTÈS X FEMALE MASTER







あの：
エドモンの事
なんだけど

なんか
最近距離を
置かれてる
気がする



あ、相談って
そういう系？

まあ：
そんな感じ
：

私は帰らせて
もらいますね

ああ待って待って
マジで真面目に
悩んでんだって！



なんで
それ私らに
相談すんのよ

後輩は后輩の后輩。

や、だって：
マッシュに女の顔
見せたくない！

それに：

ハア~~~~？

やっぱ二人に
相談したくて…

信頼してるので



満更でない
(絆高)

えー♡

で？
アヴェンジャーの
兄さんと上手く
いってないって？

うん…？
いやうん？

なんなんですか？
ハッキリしないわね



ガクッ

や、喧嘩してるわけ
でもないし
いいちやいちゃ？
はしてるんだ普通に

じゃあ何で
そう感じる
のよ？

なんかこう…
あ、これは！って
いう雰囲気にな
った時に

おやすみ
エビモン

まあ

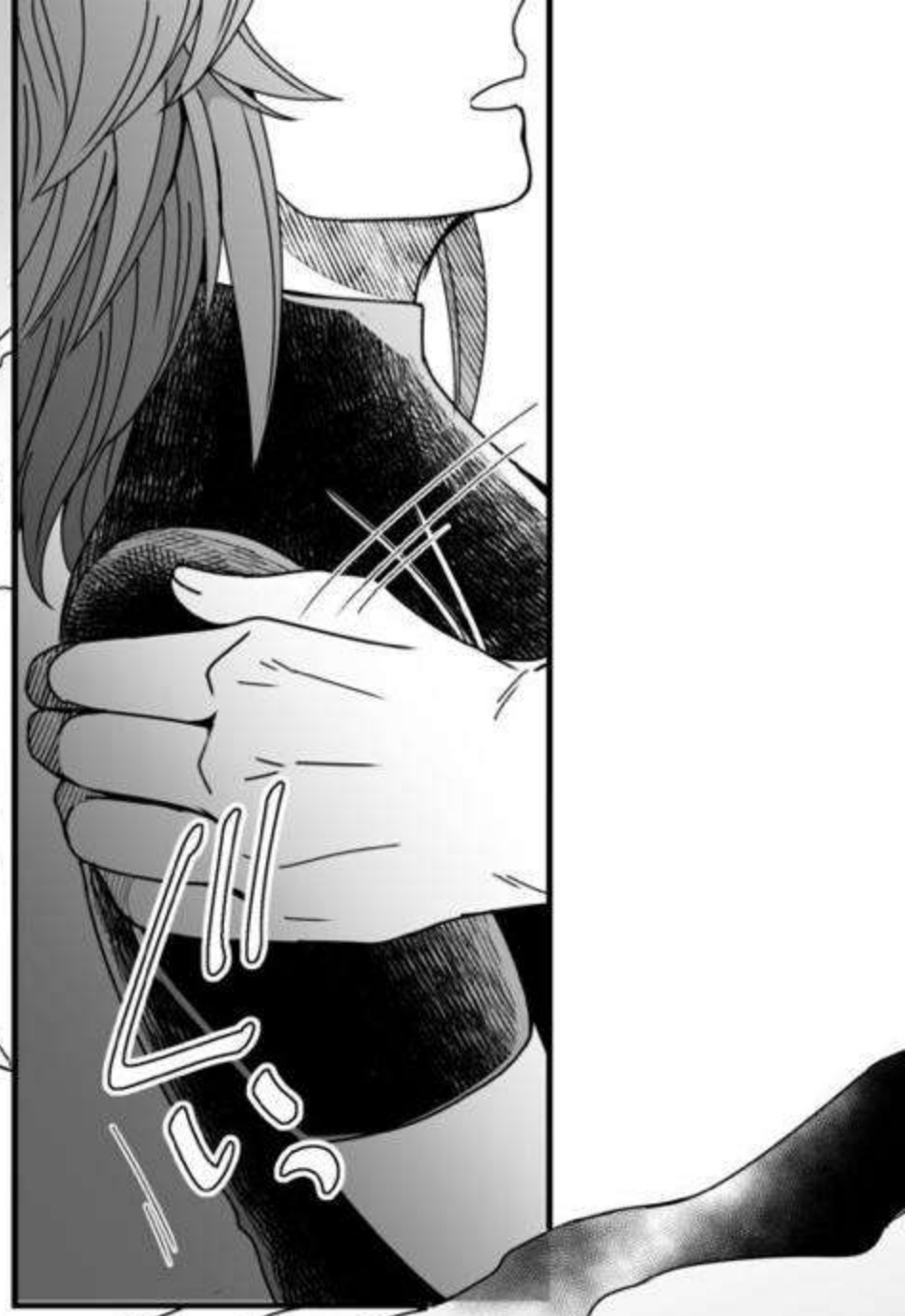




ではな

明日も早い
もう寝ておけ

って感じ



しっしっ



あー...

距離
取られてる気が
する...

んが何回も...
あー...



やっぱりさ!
そういう事
したく無いんかな!
わからん!
仲良くしたいって
言ってたけど!

お互い何でも
言おうねって
話したけど
こればかりは...
流石に恥ずかしくて
言い辛い!!

まあ、女からは
そういうの
言いづらいわな



だがなあ
マスター



確かに兄さんは
あんたの男だよ

だがあちらさんから
手え出すってのは
言うなれば
すげえ越権行為なわけ

いくらあんたらが
そういう関係でも

あんたが主で俺らが
サーヴァントな以上
それは難しいわけよ



：確かに
主従だけどさ

エドモンには
お、お付き合ひ
している男女として
扱ってほしい…



俺の時代なら
頭と体が
サヨナラ〜って
話だよお♡

トトト



全部
終わった後だって
ずっと彼と
いるつもりだ

おー

マスター
貴女：



生半可
じゃない事
言ってる
自覚有りますか？



確かに
サーヴァントと
マスターが主従以上に
親密になった例は
いくつか記録に
あるでしょうね

だけど
そのほとんどが
貴女の言うようには
なっていない



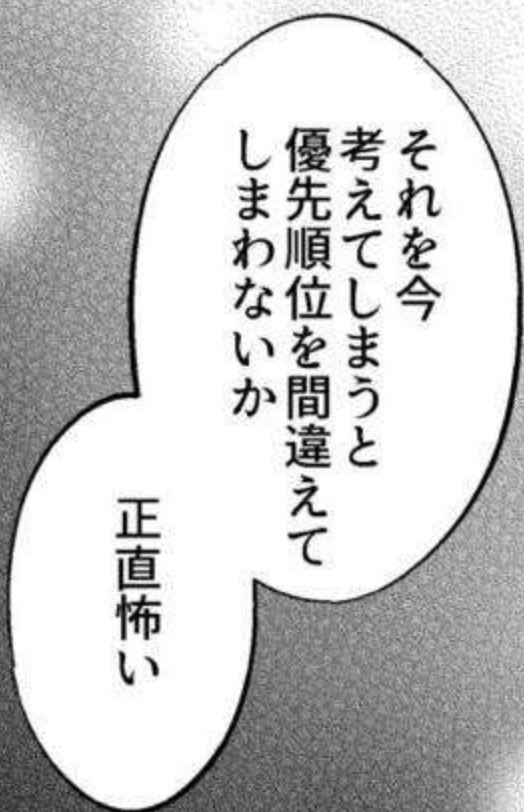
英霊は座に還る
ものですから



アンタの発言は
それを越えて迄の
ことかしら？



所詮
人と人ならざる者





だけど全部
終わったなら



順番を
間違えちゃ
いけない



人類最後の
マスターとして



「藤丸立香」として
サーヴァントと
一緒にいる方法を
探す、考える

万が一、
還ったって
何しても
喚び戻すよ



覚悟はある
ってことは
断言させて



だから
何もできない今は
お花畑って
言われても
しょうがない

でも

…今

できること
やってるのは
とりあえず令呪一画
絶対残す、くらいかな

これが
どれ程効力あるか
わからないけど
手段と可能性は
一つでも増やして
ところかなって

絶対座に還らず
私の傍にいろとか…
言おうかなと…

びびっ

だから
この前令呪
使わなかったのか!

まあ…
それがなくても
奥の手だからさ…

使わずに隠したほうがいい

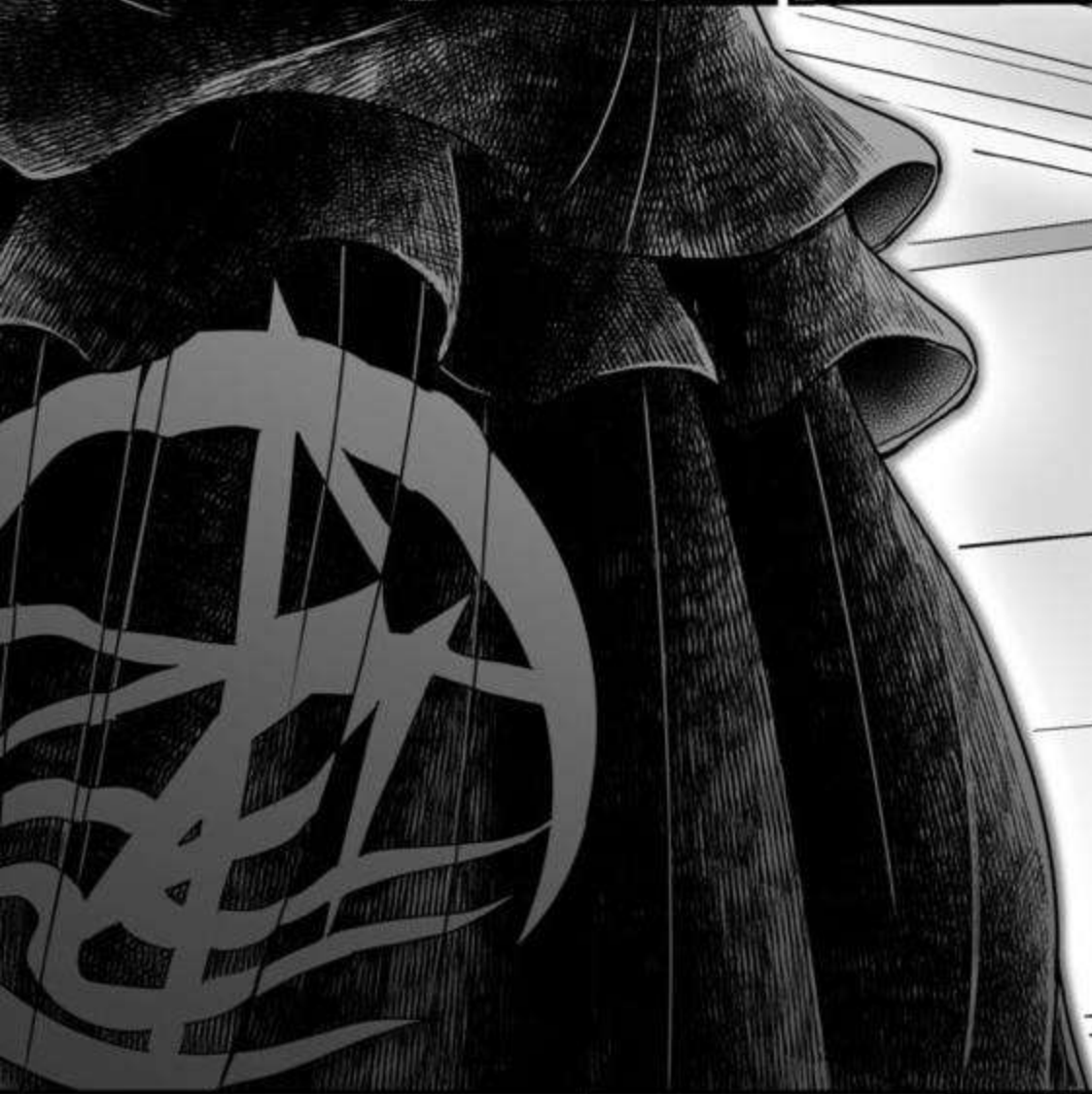
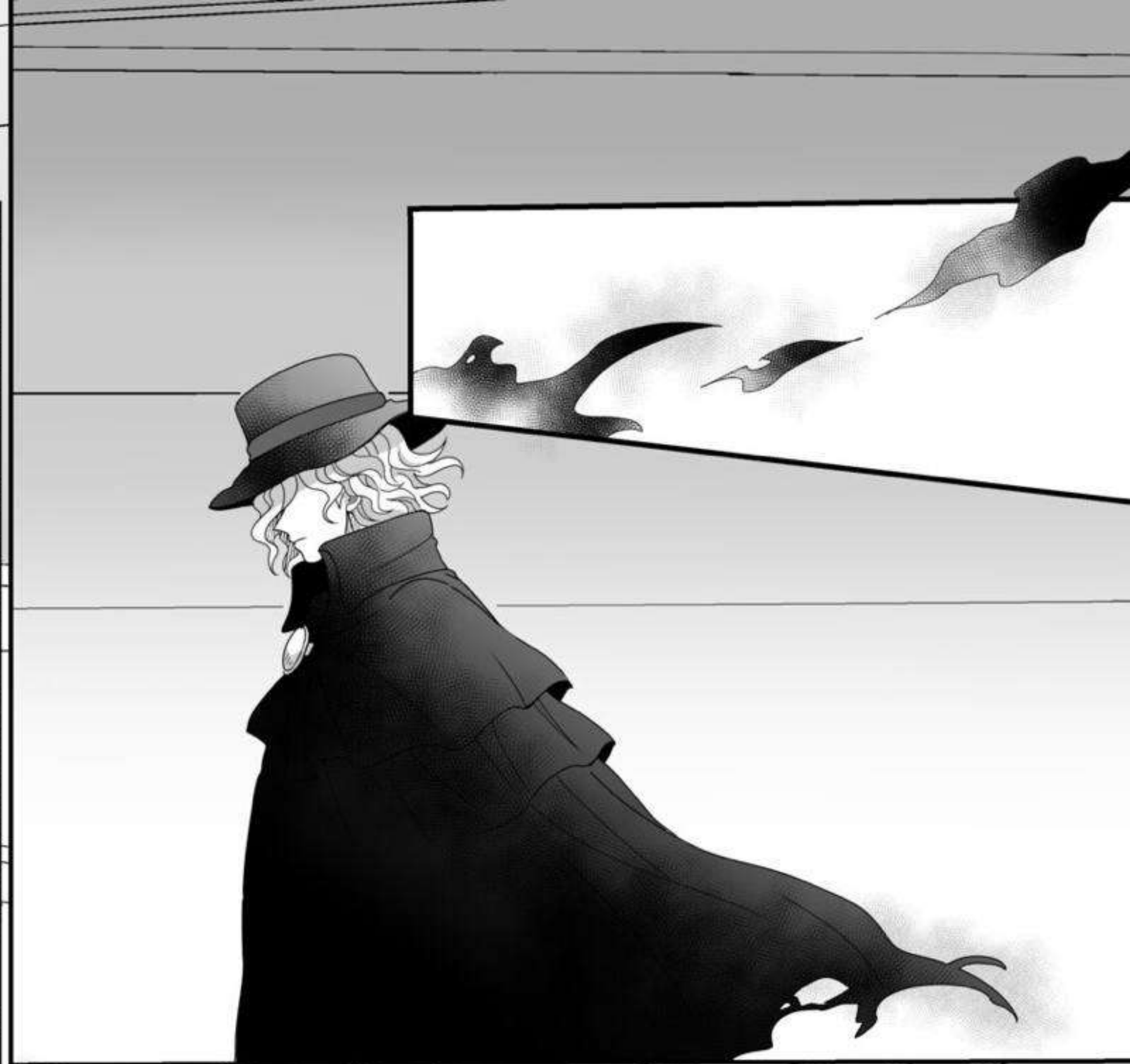
なるほどね
わかりました
ご説明どうも

え!
やっぱ相談ダメ!?

やる事があるのよ
私は席を外します

そっから…
残念…

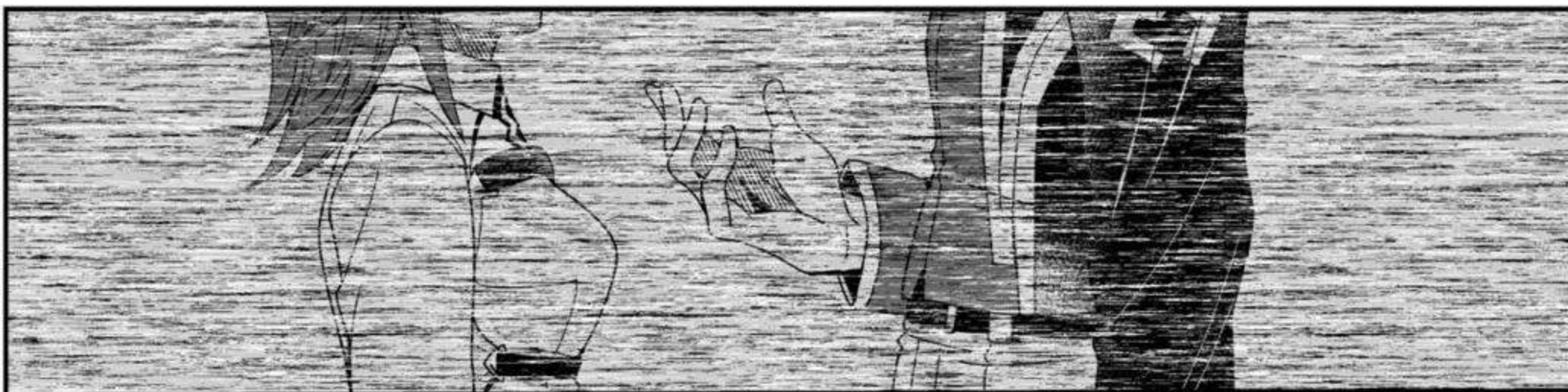








マスターに
寄り添う者は
アンタだけ
じゃないのよ



…
とつとつ
腹をくくりなさいよ





そんな顔するくらいなら



…知った口を

他者に干渉する
悪趣味を覚えたか
竜の魔女



あんた
一番傍にいるのに
一番
わかってないのね

私達が
身を以て
知っている事
でしょうに

わざわざ
言葉にしないと
分かりませんか?

「何があるか
わからない」と

：俺が
させるとでも？

その妄言と
燃すべきか？

どうぞ？
できるものなら





はあーい!!
お二人さん!
なにやってんのお!?

マスターの御前だぞ!!!





あーハイハイ



行くわよ
アサシン

お茶どうもね
マスター



ええー…?
U U

と、
とりあえず
部屋いかない？

ああ

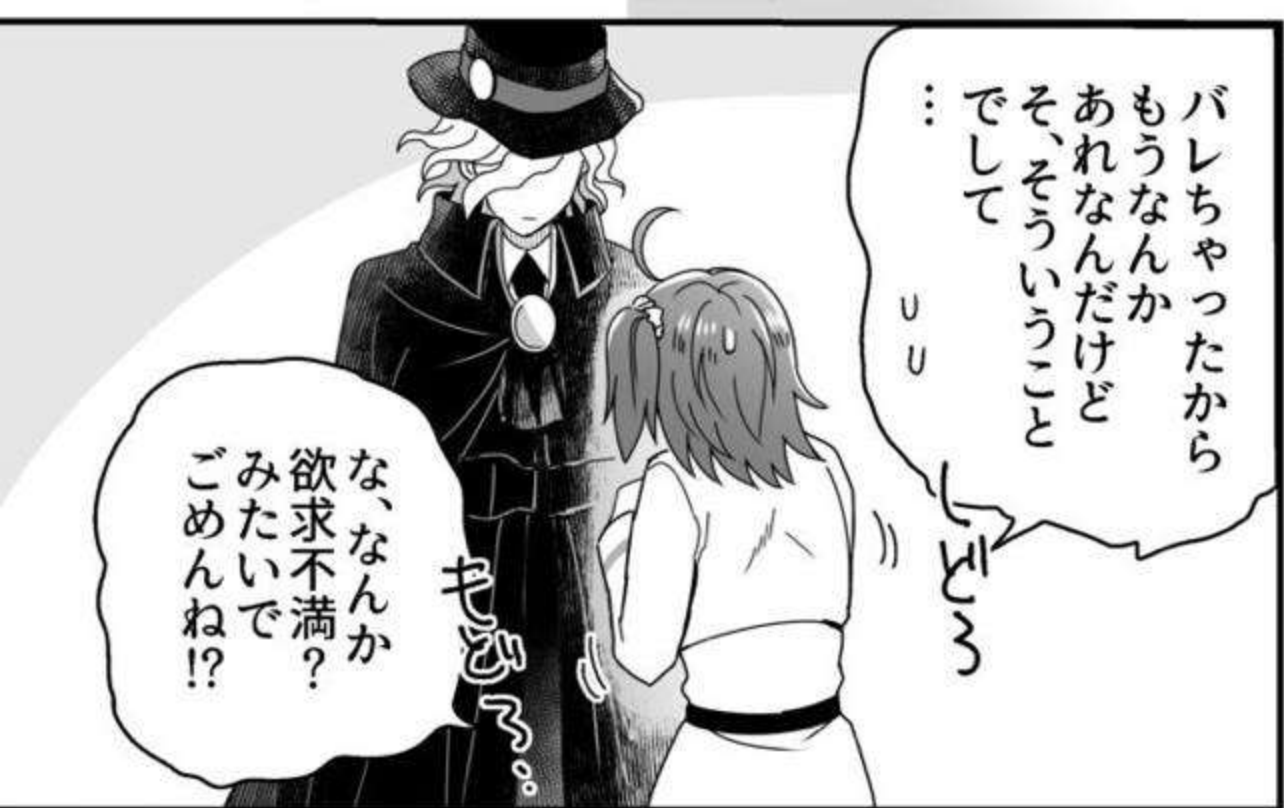




えっと…

こ、コーヒー飲む？

いや…



バレちゃったから
もうなんか
あれなんだけど
そ、そういうこと
でして

うう

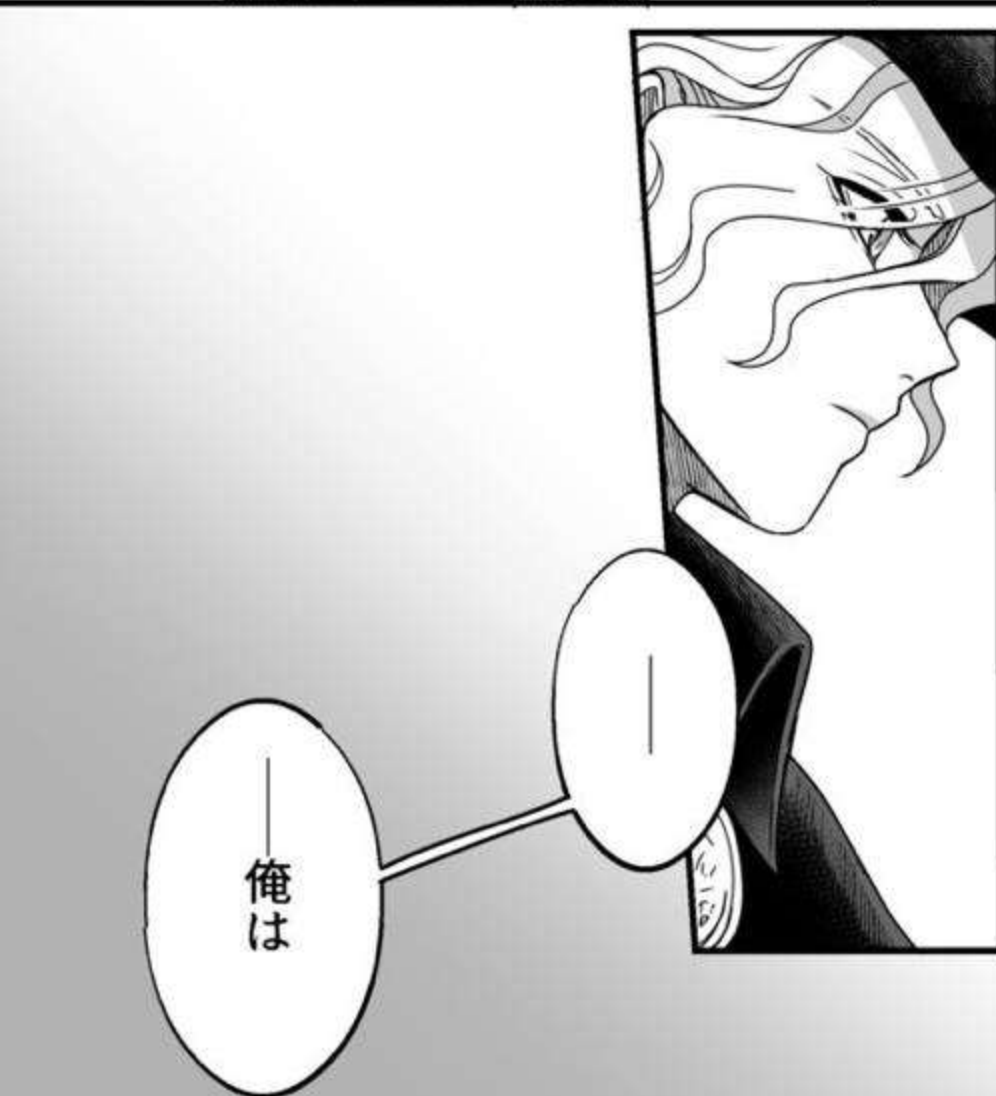
な、なんか
欲求不満？
みたいで
ごめんね!?

モウッ



あの…
ジャンヌちゃん
さっき言ってたけど
何か聞いた…？
よね、その感じ…

…



俺は



そゆことしたいな
って…
エドモンに直接言えば
良かったんだけど、
は、恥ずかしくて…
ははは…

カアアア

うお~~~~
恥ずかしくて
死ぬ

有体に言えば
躊躇している

関係の先を望む
おまえの願いも
理解している
その上での躊躇だ

これを口に
出すべきかとも
考えた

だが
俺は俺の意思で
答えを出すべきと
判断した

思案するに
これ程までかかる
とは
想定外だったがな

物理的にでも
距離を取らねば
劣情に
流されかねん問題だ

それほどまでか

俺はおまえに
煽られてしまう



愚を犯すまいと
設けた策では
あったが――

流石に不安を
煽ったか

…ひとり

何を考えてたの？



俺はおまえを

抱くべきではないと
考えている



仮初の
存在である俺が

おまえの
身と心を
捧げられて
良いものか



どれ程長く
生きようと
純潔を失うのは
一度きりだ

処女性の価値は
どの時代においても
共通だろうさ



俺が、
俺であるが故に



おまえが
他の…

只人の男と
会話をして
いるのを見た



俺はおまえを
導く者であるが、

普遍的な幸福、
それにだけは
道を示す事は出来ん



余りにも
暖かく心地良い
おまえとの関係に酔い
失念していたのだ



その時初めて
迷いが生じた

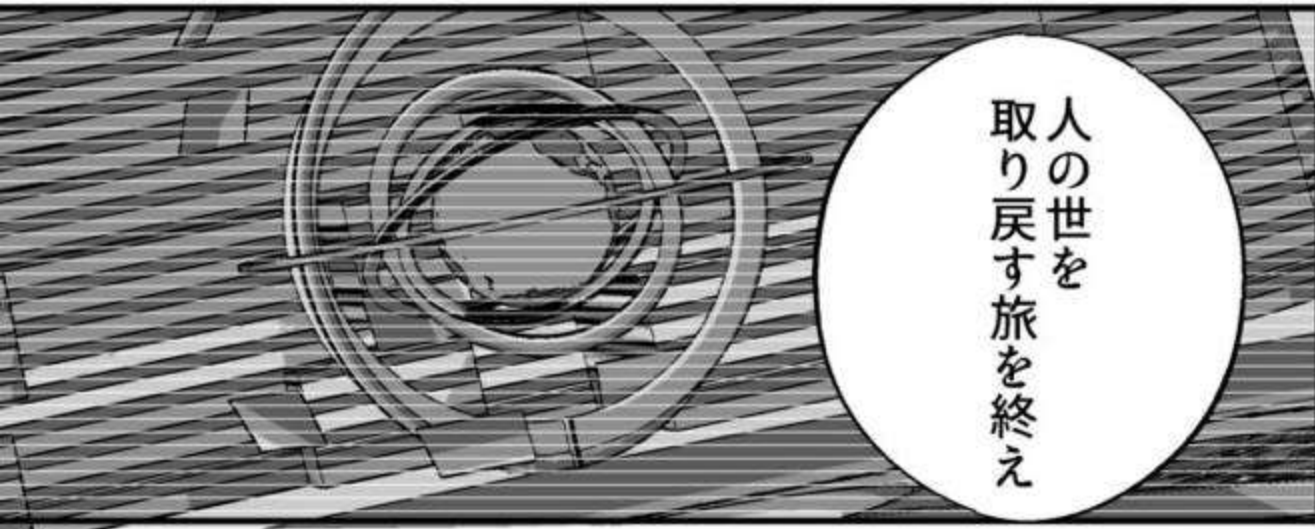


藤丸立香には
一人の娘としての
幸せを得る道が
あるのだと



享受して当然である
在り来たりな幸福
それを奪うのは
天文台だけではない、

俺の情愛もまた
そうなのだ



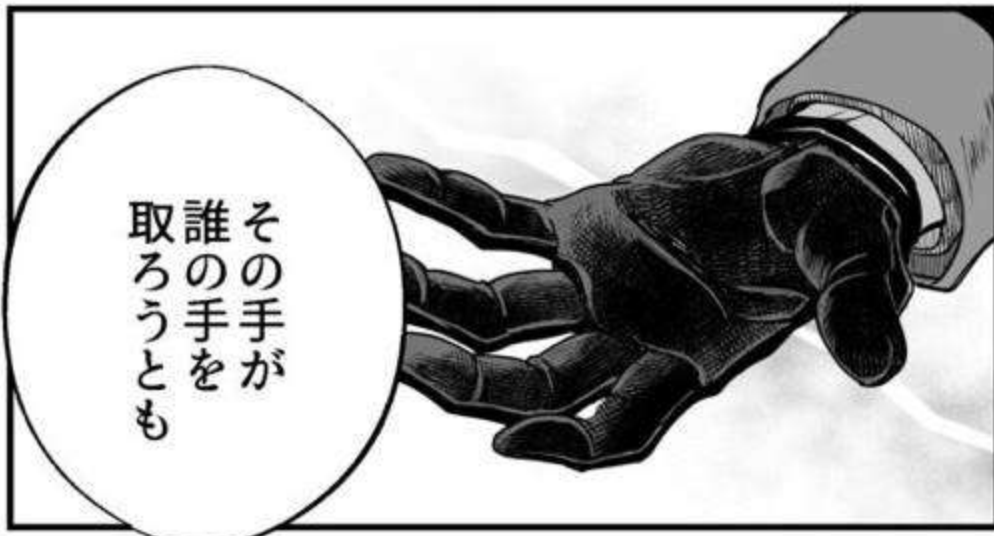
人の世を
取り戻す旅を終え



唇に触れる
温度だけで
充分が過ぎる



俺は
このままでも
構わん
肌を交わさずとも



その手が
誰の手を
取ろうとも

変わらず
おまえ一人を
想うだろう



だが



そんなのっ…



それが
使い魔と主の
当然の在り方だ

だが！

おまえの
傍に立つ者が


俺を措いて
他に在るなど、
許せるものか！

俺以外の男と
談話する姿にさえ

胃の腑を
焼く思いだと
言うのに！

ああ、愛に狂い
破滅する愚か者が
世に蔓延る理由が
良く分かつとも！


この身を以て
理解する！




リツカ
おまえは俺に
救いを与えず



共に並び戦い




悪性のままの
在り方を許容した




不変の俤
共に在る事を選び



俺に
この在り方を
与え許した



ならば
俺もまた



おまえの望む
俺であろうと！



そう、
求める俺も

…



復讐者として
共にあり続けようと

只人としての
幸福など
知った事か



また…真実だ

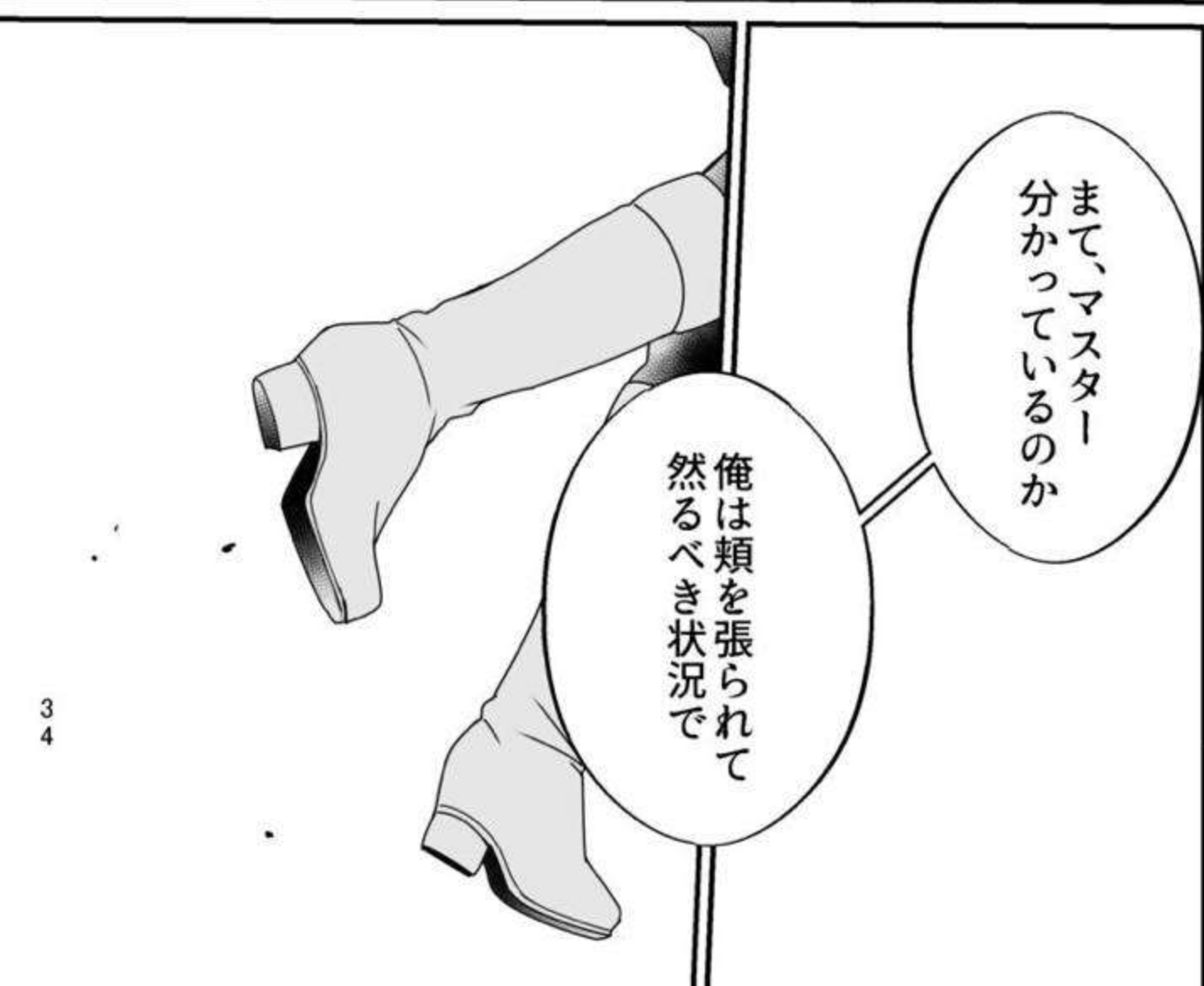
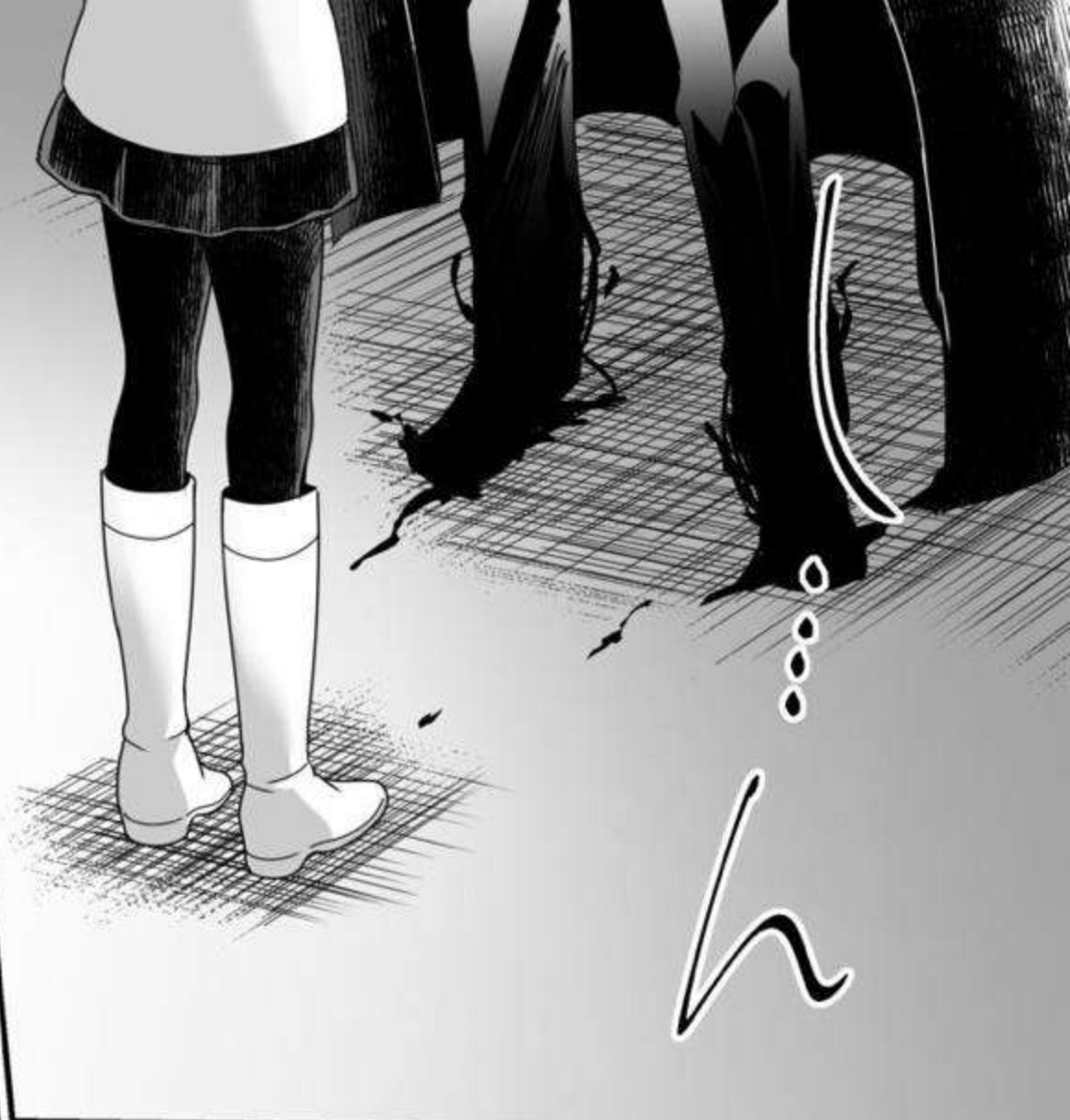


無様な躊躇を許せ
我が最愛の、共犯者…



おまえの事となれば
悩みもしようさ

…
故に、惑い、
躊躇った
らしからぬと
理解している



抱き着いてもいい？

今凄く
嬉しいから

あのさ、

まて、マスター
分かっているのか

俺は頬を張られて
然るべき状況で

いや、





私は、この手を取りたい



私だって隣にいる人はエドモンが良い



一緒にいてほしいです



だから：私の選択を、意思を尊重してくれるなら



ふふ



茨の道よりも尚過酷な未来だ



本当に良いのか





そうか！
そうなるな！
確かにおまえの
言う通り、
突き詰めれば
その通りだ！

ハ、ハハハハ！

クハッ



いや、

普通
じゃんか

実に
明敏な頭脳だ！
恐れ入る！

俺が滑稽な程に
悩んだ事を
おまえは早々に
解決してしまった

な、
なにさ…



流石は
我が共犯者だ

そこまで
言わせたのだ
これ以上の恥を

ああ、違うな

おまえの
情愛も、覚悟も、
全て見せて貰った

なれば
応じぬ理由が無い

さあ
当初の問題に
立ち返るとするか

ひまい

んえ！
今!?

これ以上
待たせる気
はない

俺も耐える
理由が無い

…拒むか？



...オネガイ

シマス...

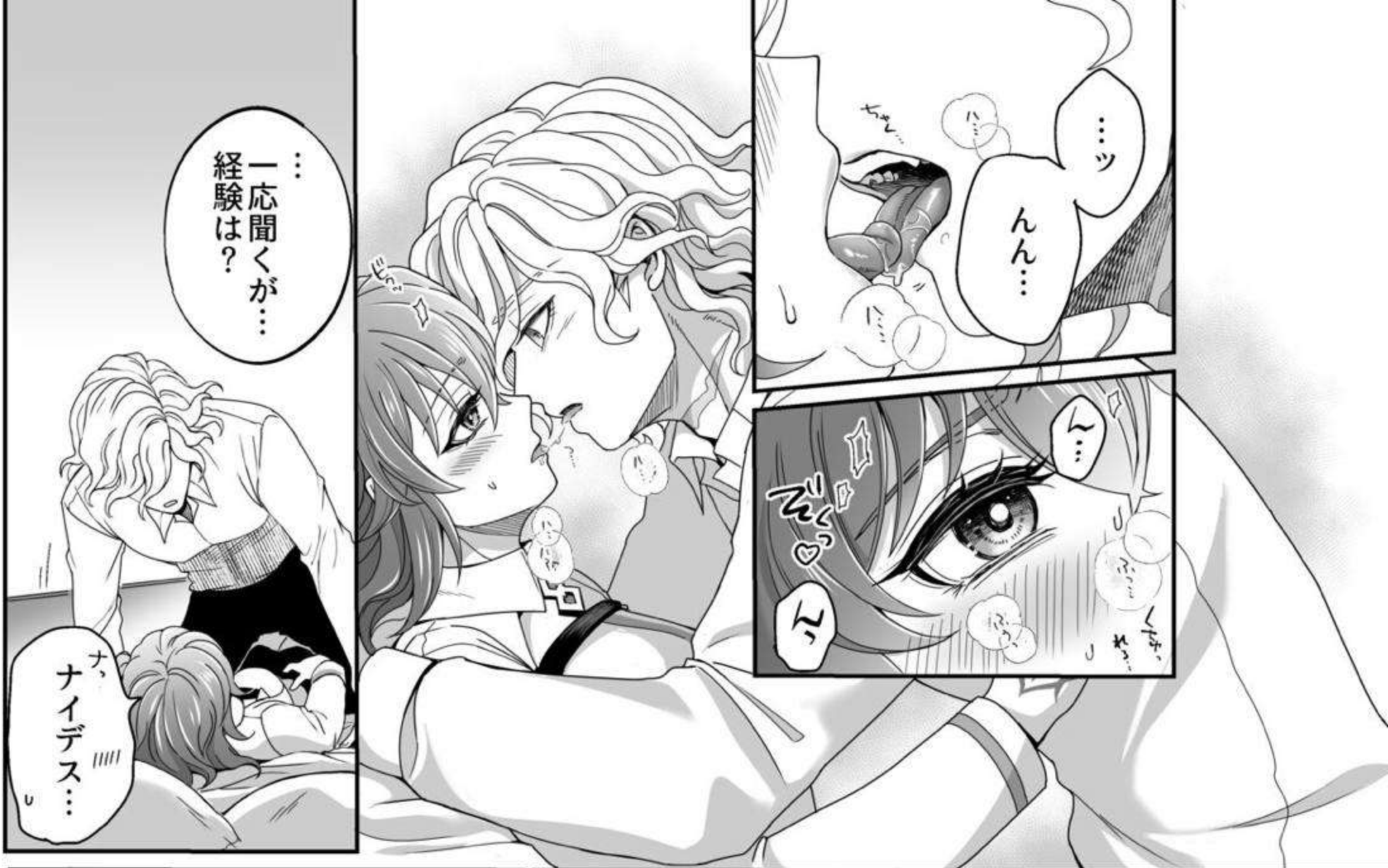


...



ん...っ

...



…
一応聞くが…
経験は？



…
んん…



ナ、
ナイデス…



そうか



う、嬉しい
もんなの？

好いた女の
初めてが
嬉しくない男など
いるのか？

逆に
聞かれても…



んん…

んん…



あの、
ごめんね
……
ありがとう

何故謝る

や、だって
なかば脅した
気がして……

きゅ、急な展開に
不安になりました……

貴方が
断れないから
こういう事
させてるんじゃないかって

おまえの懇願を受け
俺が仕方なく
応じたとしても？

!!!
わわわッ

侮るな、リツカ



俺は許しを得、
歓喜の元におまえの肌へ
手を伸ばした

どれだけ
焦がれて居たか
再度説明すべきか？

耐える理由が
無くなれば即
手を出す男だぞ



大げさ…

普通の
自信に満ちた
主は何処へ？

偶にぞつて
卑下する



だって
言っただじゃん
その先もずっと
一緒にいるって



ずっと
一緒にいたいから
ずっと好きでいて
もらわないと困る



私は強欲だけど
傲慢にはなりたく
ないんだよ!



「だってエドモン
私の事
好きでしょ〜?」
なんて嫌だ

だから
どんなことしても
自信たっぷりで



……



〵〵〵〵〵〵〵〵



……?
ゆっ



いや、

これを健気と
呼ぶのだな、と

な、なに



マリア様……

ふ
〜
〜
〜
〜
〜
……



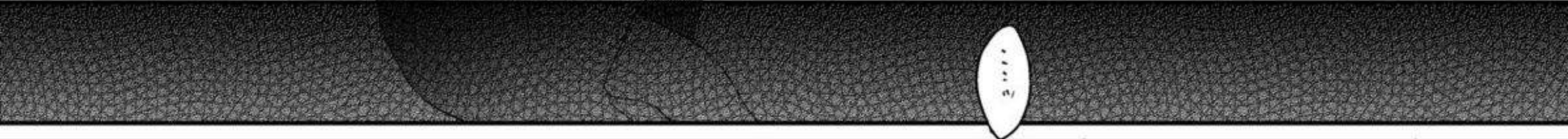
あまり喜ばせるな



『どんなことをしても
おまえを愛している』



そろそろ
こちらに集中しろ



...



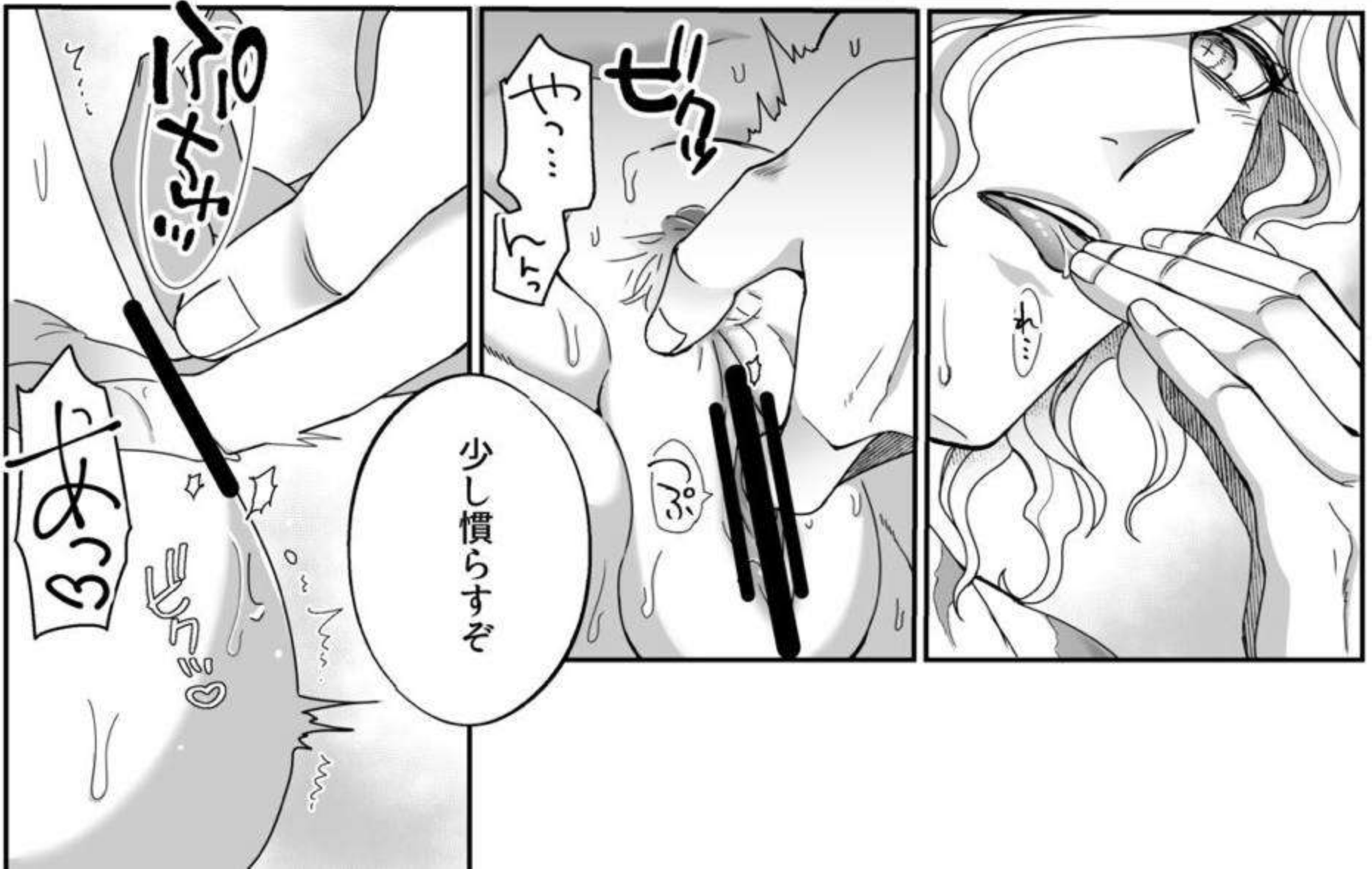
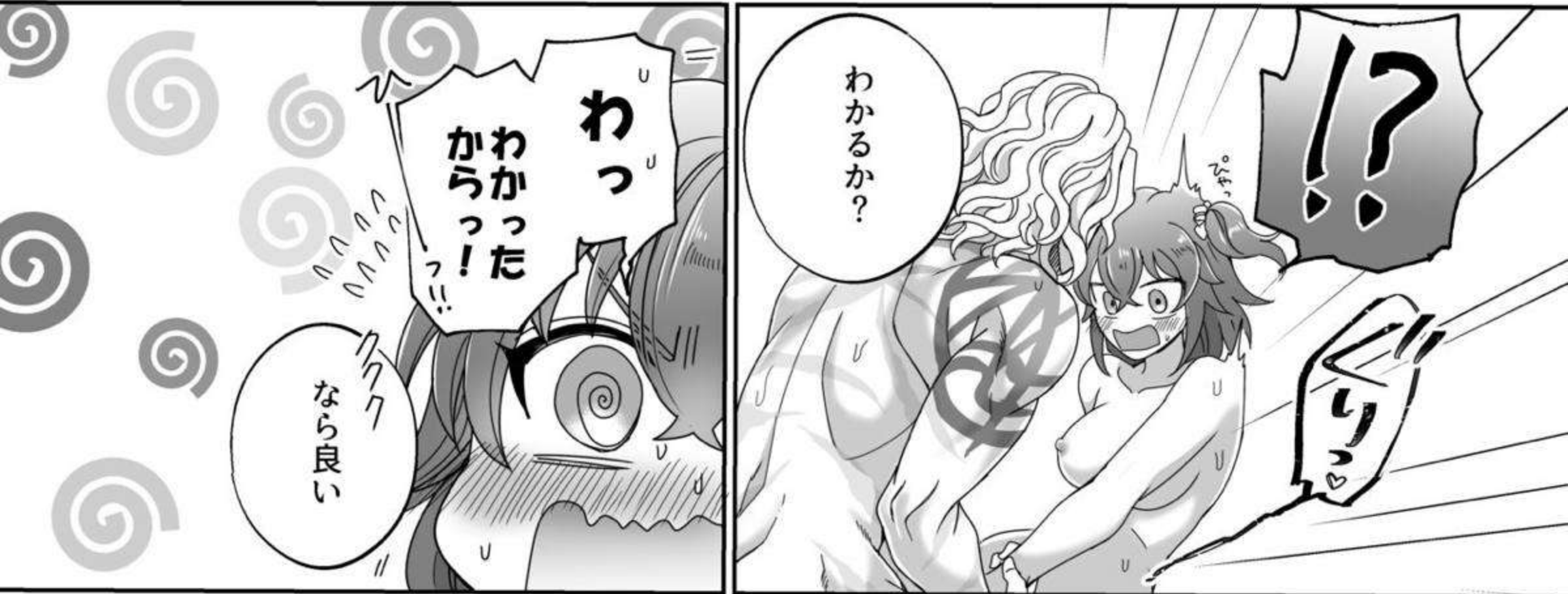
あ...

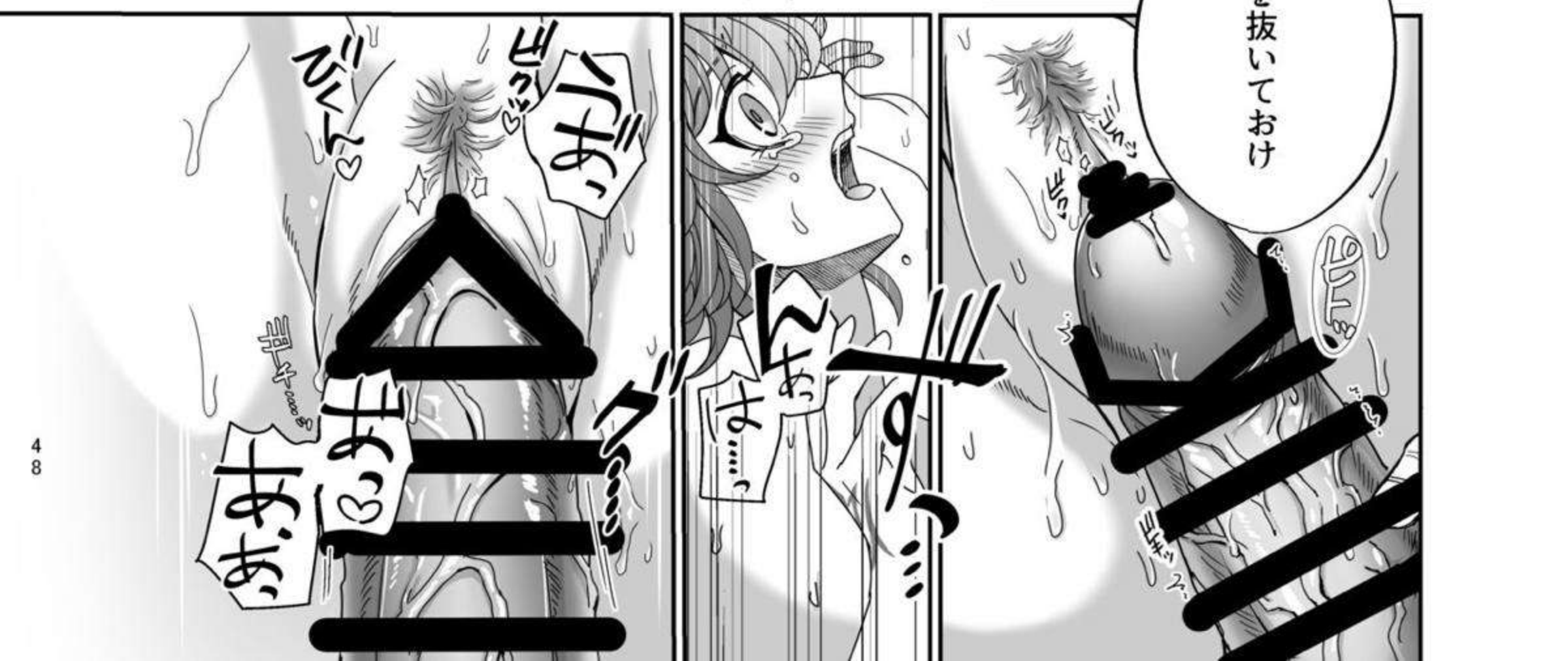


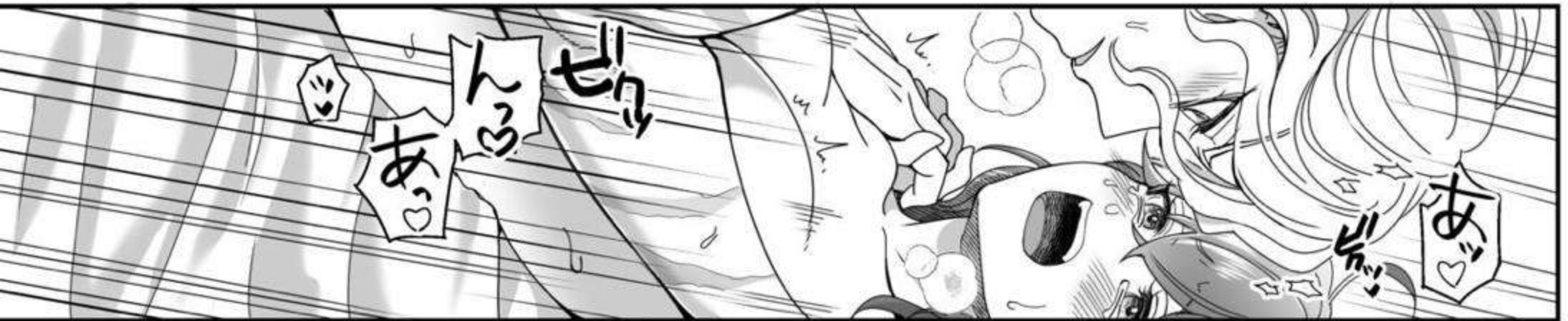
んんっ♡

ヤ...ッ

♡...♡







目覚めたか



：許された
とはいえ
無体を働いて
悪かった



安心しろ
そう経っては
いない

ごめ…
寝ちゃった…
今何時？
お服着る…



むしろ色々、その、
後片付けとか、
ごごめん…
ありがとうお…
拭いて…



や！
とんでもない

礼を言うのは
こちらの方だ

改めて感謝を…
リツカ

俺が俺の俣
おまえを愛する事が
出来るのは、
おまえがそう
愛したからだ

愛を得られぬと
定められた復讐者が、
他者を愛する矛盾

本来ならばとうに
絶えていた炎を
おまえは吹き消さず
肯定した

だからこそ
この時間が
余りにも尊い

例えこの手から
すり抜けようと
策を弄したとて
全て無駄と思え

覚悟するといひ

これで、おまえを
手放してやる
選択肢は消失した

この悍ましい程の
情念と傾慕、
語るには千夜を
渡れども足りん



はつきりと
言っておくが
俺は重いぞ



なに...



ともあれ
早々に諦めろ
これがおまえの
選んだ男だ



座に還す気ない
って言うてる
私のが重いんじや
...?

...って
うわ、これバカカップルの
会話なのでは!?



茶番を望むか共犯者
客かではないぞ？

いや、いや！

いいから！



姐さんさー

なんでそんな
兄さんに
噛みついたのよ

モクモク

ハハハ

見てて
イライラしたのよ



マスターと似て
諦める事なんて
できないって
面してるくせに

ドス

ドス

：
アレとなら
勝ち確
だったのに

なーに変な事で
引いてんだか



：
アンタも大概
マスターの善性に
寄せられてんねえ

燃やすわよ

おーこわ